

神戸初となる

「パーキンソン病治療センター」

を開設



附属脳血管研究所所長・脳神経内科部長
平田 温

神経難病のパーキンソン病は高齢化により増えている疾患の1つです。しかし、神戸市にはパーキンソン病を専門的に診るセンターがなかったため、このたび吉田病院は「パーキンソン病治療センター」を開設。脳神経疾患を長く診療してきた実績を生かし、地域の患者さんを適切なパーキンソン病治療に導くべく取り組んでいます。

パーキンソン病の

専門センター開設により、

地域の医療ニーズに応える

パーキンソン病は代表的な神経難病で、高齢化に伴い日本で顕著に増えています。かつては50代で発症すると言われましたが、今や状況は大きく変わり、80代、90代で発症する方もいるほど発症年齢が上がってきました。パーキンソン病の疑いのある人々を適切かつ早期に診断・治療することは急務となっているわけですが、これまで神戸界限にはパーキンソン病専門のセンターがありませんでした。そこで当院に「パーキンソン病治療センター」を開設する運びとなりました。当院には脳卒中治療センターがあり、長く脳神経疾患を診療してきた実績と体制があります。また、正常圧水頭症を専門とするセンターも備えているため、パーキンソン病やその類似疾患の診療も得意としています。

パーキンソン病の外科的治療、脳深部刺激療法（DBS）の技術を持つ医師を迎えたこともあってセンターを開設し、パーキンソン病の診断・治療に貢献していきたいと考えています。



内科・外科・ リハビリテーションの 3つがそろった体制が強み

当センターの特徴は、パーキンソン病治療の柱である薬物治療・外科的治療・リハビリテーションの3つがそろい、同じ病院の中で一貫して診療できることです。

パーキンソン病には類似疾患が多く存在し、画像検査だけで診断するのは難しいという特性があります。当センターではまず神経症状をしっかり把握し、画像検査などによって他の類似疾患ではないかどうかの鑑別診断を行い、最終的にパーキンソン病の診断に持っていくという診断手技が確立しています。

日本神経学会認定の神経内科専門医2名が常勤で在籍するのに加え、日本脳神経外科学会が認定する脳神経外科専門医もおり、パーキンソン病に特化して機能できるだけの診療体制が整っています。

放射性同位元素を用いるMIBG心筋シンチグラフィやDATスキャンなど、当センターで対応していない画像検査が必要になった場合は近隣の医療機関で実施できるよう連携しています。

リハビリテーションの体制がしっかりしている点も強みです。当院に在籍する100名近い療法士が、これまで培ってきた経験や知識をパーキンソン病治療センターでも発揮しています。センター開設に向けてリハビリテーションで行うべき検査や治療手技に関して院内勉強会を重ねてきましたが、豊富な知識を備えた療法士が育っていると自負しています

インタビュー全文をWEBページにて公開しています。

<https://www.yoshida-hp.or.jp/column/interview/index08.html>

TOPICS

- ・地域に潜在するパーキンソン病患者を適切な診断・治療に導く
- ・薬剤のさじ加減が難しい疾患だからこそ、タイミングを逃さず治療を始めたい
- ・激増する薬剤性パーキンソニズムにも速やかに対応



吉田病院メールマガジン <https://www.yoshida-hp.or.jp/tiiki/newsletter.html>

日々の診療にお役立て頂ける脳疾患に関する専門的な情報や当院の取り組みにをメルマガにて配信しています。

※配信停止などはいつでも行って頂けます。

メルマガ登録はこちら



社会医療法人 榮昌会
吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6
TEL:078-576-2773 FAX:078-577-2792
<http://www.yoshida-hp.or.jp/>

患者さんのご紹介や当院へのご意見などは地域医療連携室にお気軽にご連絡ください。

TEL:078-576-1520 (平日 9:00~16:30 土曜 9:00~12:00 ※祝祭日は除く)